

通院・買い物交通弱者対策事業
～中西サポーターで地域の応援を～

益田市中西公民館

1 中西地区の概要

(1) 地区について

中西地区は、益田市西部に位置し、平成29年1月末現在人口は、1,935人世帯数809戸、高齢化率38.7%と益田市全体の高齢化率と比較すると3%高くなっている。

地区全体の産業としては、水稻栽培が盛んである。

また、畑地では野菜栽培が盛んで、国営農地開発地ではブドウ栽培を中心に行っている。

地区内には、保育園が二か所、小学校・中学校がそれぞれ一校ある。

郷土芸能としては、各地区に田植ばやし保存会があり継承をされている。

また、毎年1月1日には、市の名山【^{おお}大道山^{どうやま}】に登って初日を拝む「大道山初日遥拝登山」を開催しており、この山の標高は、419.6Mと語呂合わせで「良いこと来る」と云われており大変縁起が良い山と云われている。



(2) 現代の取り組み

地区では6年前から『中西ヘルスポイント制度』を始めた。公民館教室等に参加すると、ポイントを付与し、10ポイント貯ま

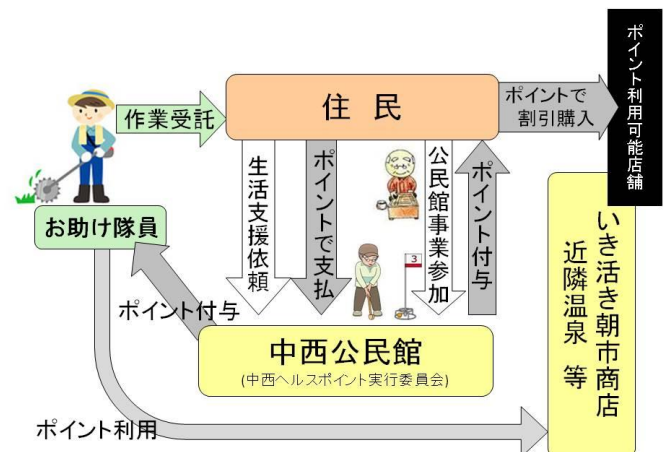
ると400円の割引券を交付している。

この割引券は、市内の温泉や近隣の山口県の温泉でも使え、買い物でも利用できる。

老人クラブを元気にするために、クラブの加入者には倍のポイントを付与している。

なお、この財源は、月一回「いき活き朝市」を開催して、この収益の一部を充てている。現在、3,000枚割引券を交付している。地区の皆さんに喜んでいただくとともに、**公民館事業への参加者が増え、高齢者の交流の場にもなっている。**

中西ヘルスポイント制度イメージ図



中西いき活き市の風景（毎月第三土曜日朝）



2 事業の趣旨

(1) 交通弱者対策

地区内では、通院・買い物に行く際、午前中1便しかない生活バスで停留所まで行き、路線バスに乗り換えて行くか。停留所まで歩いて行き、2時間に1本しかないバスで行くか、タクシーを借り上げて行く方法しかない。

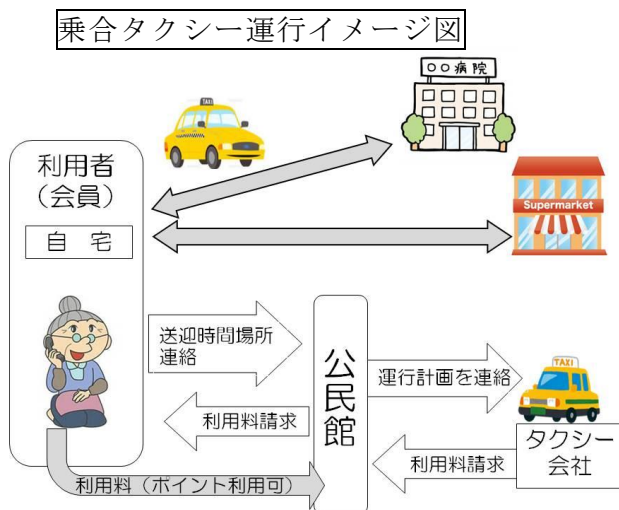
(2) 実態調査の実施

地区民の60歳以上の方871人の方にアンケートを実施したところ、回答をいただいた424人の内約73%(309人)の人が利用したいとの回答があった。

中でも、今すぐにでも利用したいという人が 46 人おり、この対応を急ぎたいと考える。

3 具体的な取組内容

(1) 乗合タクシーの住民説明

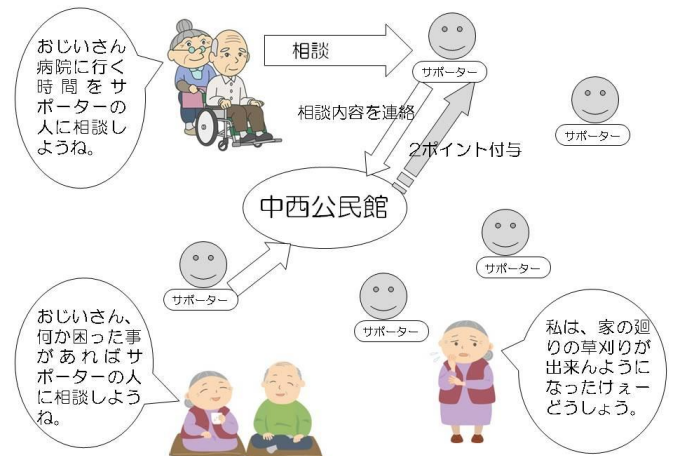


いきいき市での住民説明



(2) 実施する仕組み

中西応援隊(サポーター)の活動



【サポーターによる聞き取り】

4 評価と成果

地区内に中西応援隊(サポーター)を募集したところ、2月末現在44人の登録をいただき、現在高齢者に対して乗合タクシーの呼び掛け、公民館事業参加の呼び掛けをいただき、公民館参加者も若干増えつつある。また、生活支援の「何でもお助け隊」の要請もサポーターから連絡があり、高齢となっても住み慣れた地域で暮らし続けられる仕組みが来ている。

5 今後の課題と見通し

現在の中西応援隊(サポーター)は、中心地に集中しており、今後各集落の中に最低2名の支援がいただける様「中西公民館劇団」等を活用し積極的な働きかけをしていきたい。

(文責：中西公民館長 豊田忠作)